

事前評価個表

整理番号	9
------	---

地域（地区）名	しよ ^う が ^わ 庄川	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	富山県	対象市町村	たか ^{おか} 高岡市ほか5市
事業実施期間	R6年度～R10年度（5年間）	事業実施主体	県、市、森林組合等

事業の概要・目的	<p>本地区は、富山県西部に位置し、総面積の約56%にあたる83千haが森林であり、そのうち74千haが民有林、人工林は25千ha（人工林率34%）となっている。人工林の齢級構成は12齢級をピークとし、10齢級以上の林分が8割を占め森林資源の充実が進む一方、6割の林分は間伐が必要な4～12齢級であり、増大する利用可能な資源の活用と適正な管理が必要となっている。</p> <p>このため本地区では、資源の循環利用を促進しつつ、水源涵養や土砂流出防止等といった森林の有する公益的機能の維持増進を図ることが求められており、関係市が策定する森林整備計画等に基づき、主伐後の植栽や間伐等の適時適確な森林施業により、健全な森林の育成に取り組んでいる。</p> <p>しかしながら、近年の林業採算性の低下や山村地域の過疎化による林業従事者の減少、不在村森林所有者の増加により森林施業の集約化が進まないこと等を要因として、必要な森林施業が遅れ、森林の有する公益的機能の発揮に支障を及ぼすことが懸念されている。</p> <p>このため、本事業では森林資源の循環利用と森林の有する公益的機能の持続的な発揮のため、施業の集約化・機械化による効率化を図りつつ、主伐後の植栽や間伐等の森林整備を計画的に実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：2,346ha</p> <p style="text-align: center;">人工造林、下刈、雪起こし、枝打ち、間伐等</p> <p>総事業費：4,798,170千円（税抜き4,361,973千円）</p>
費用便益分析結果	<p>$B/C = 2.49$</p> <p>（総便益（B）＝17,341,859千円、総費用（C）＝6,952,309千円）</p>
評価結果	<p>必要性： 本地区の保育対象林分の賦存状況及び主伐後の再造林の緊急性等を鑑み、水源涵養や土砂流出防止等といった森林の有する公益的機能の維持増進を図るためには、適正な造林や間伐等の森林整備が必要であることから、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性： 森林施業の集約化・機械化等を通じた効率的かつ適確な森林整備を実施することとしており、費用便益分析の結果からも、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性： 森林資源の現況を踏まえた計画的な事業の実施により健全な森林が育成され、森林の有する公益的機能の維持増進はもとより、将来にわたっての優良材の安定供給が期待されるため、事業の有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：富山県

地域(地区)名：庄川

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	4,545,639	
	流域貯水便益	1,477,418	
	水質浄化便益	5,698,545	
山地保全便益	土砂流出防止便益	4,288,936	
環境保全便益	炭素固定便益	664,868	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	666,453	
総 便 益 (B)		17,341,859	
総 費 用 (C)		6,952,309	
費用便益比	$B \div C = \frac{17,341,859}{6,952,309} = 2.49$		

森林環境保全整備事業 庄川地域（富山県）概要図

